

令和6年度事業報告

I 法人の概況

1. 設立年月日 昭和49年2月8日

協会は、昭和49年2月8日に(社)青森県家畜畜産物衛生指導協会として設立。平成15年7月1日に(社)青森県家畜畜産物衛生指導協会を存続法人として、(社)青森県畜産会及び(社)青森県肉用牛協会が再編統合し名称を「社団法人青森県畜産協会」に変更した。

平成20年6月1日に青森県草地畜産協会と統合。更に平成22年4月1日に(社)青森県畜産物価格安定基金協会と合併した。

平成25年4月1日に青森県知事から移行認可を得て「一般社団法人青森県畜産協会」に移行した。

2. 定款に定める目的

協会は、畜産経営の安定向上及び安全で良質な畜産物の生産と流通に関する事業を行い、畜産の振興に寄与することを目的とする。

3. 定款に定める事業内容

- (1) 畜産に係る生産の振興及び経営技術の指導に関する事業
- (2) 畜産に係る調査・研究及び情報の収集・提供並びに畜産指導員の教育及び養成に関する事業
- (3) 畜産農家等が組織する団体の運営の指導に関する事業
- (4) 草地基盤や自給飼料に係る調査・指導及び放牧促進に関する事業
- (5) 畜産物に係る普及啓発及び流通・消費拡大に関する事業
- (6) 経営安定のための肥育牛及び肥育豚に係る生産者積立金及び補填金の交付等に関する事業
- (7) 肉用子牛生産安定等特別措置法に基づく肉用子牛生産者補給金の交付等に関する事業
- (8) 家畜の健康保持等に係る技術指導及び予防接種並びに家畜伝染病の発生時における損失補填金の交付等に関する事業
- (9) 農場の生産衛生の指導及び検査並びに畜産物の安全性確保に関する事業
- (10) その他協会の目的を達成するために必要な事業

4. 所管官庁に関する事項 青森県 農林水産部 畜産課

5. 会員の状況

区 分	年度当初 会 員 数	令和6年度		年度末 会 員 数	備 考
		増	減		
正 会 員	80	1	4	77	東青・津軽協議会→津軽協議会 三八・上十三・むつ→県南協議会
賛助会員	4	0	0	4	
計	84	1	4	81	

6. 主たる事務所 青森市中央二丁目1番15号（畜連ビル2F）

7. 役員に関する事項

(1) 役員の異動

区 分	氏 名	所 属 団 体	年月日
退任・理事	乙 部 輝 雄	ゆうき青森農業協同組合 代表理事組合長	R6. 6. 28
就任・理事	天 間 一 博	ゆうき青森農業協同組合 代表理事組合長	R6. 9. 10
退任・副会長	水 越 善 一	全国農業協同組合連合会青森県本部 運営委員	R7. 3. 28

8. 職員に関する事項

前期末 職員数	増	減	本年度末 職員数	備 考
16	0	0	16	(正職員 8名、嘱託2名、臨時 5名、 管理獣医師 1名、非常勤を除く。)

9. 総会及び理事会の開催に関する事項

(1) 第1回理事会

令和6年5月28日、ウェディングプラザ アラスカ

理事現在数14名、出席理事11名、出席監事2名

[議決事項]

第1号議案 令和5年度事業報告及び計算書類等の承認について

第2号議案 令和6年度会費及び賛助会費の額並びに徴収方法について

第3号議案 令和6年度借入金限度額及び取引金融機関の承認について

第4号議案 令和6年度事業計画書及び収支予算書等の決定について

第5号議案 獣医師養成確保修学資金給付事業実施規定細則の一部変更について

第6号議案 第21回定時総会の開催期日及び提出議案について

[報告事項]

(1) 業務の執行状況について

(2) 公益目的支出計画実施報告書について

(2) 第21回定時総会

令和6年6月20日、ウェディングプラザ アラスカ

[議決事項]

第1号議案 令和5年度事業報告及び計算書類の承認について

第2号議案 令和6年度会費及び賛助会費の額並びに徴収方法について

第3号議案 令和6年度事業計画及び収支予算書の報告について

第4号議案 令和6年度役員報酬について

(3) 第2回理事会

令和6年8月16日

理事現在数13名、同意理事13名、承諾監事2名

[議決事項]

第1号議案 理事の選任について

第2号議案 臨時総会の開催について

(4) 臨時総会（書面議決）

令和6年9月10日 青森県畜産協会 会議室

〔議決事項〕

第1号議案 役員（理事）の選任について

(5) 第3回理事会

令和6年12月19日、アップルパレス青森

理事現在数14名、出席理事8名、出席監事2名

〔議決事項〕

第1号議案 青森県獣医師養成確保修学資金給付事業実施細則の制定について

第2号議案 会長職務の継続について

〔報告事項〕

(1) 予防接種事業に係る入札等事務の取扱いについて

(2) 地区家畜衛生推進協議会の合併等について

(6) 第4回理事会

令和7年2月18日、アップルパレス青森

理事現在数14名、出席理事9名、出席監事2名

〔議決事項〕

第1号議案 令和6年度事業計画及び収支予算書の変更（補正）について

第2号議案 令和7年度事業計画及び収支予算書について（暫定）

第3号議案 予防接種手数料の変更について

第4号議案 肉用子牛生産者補給金制度に係る業務規程の一部改正等について

第5号議案 肉用牛肥育経営安定制度 業務方法書の一部改正について

第6号議案 任期満了に伴う役員候補者の推薦団体について

(7) 第5回理事会（書面議決）

令和7年3月19日

〔議決事項〕

第1号議案 令和6年度事業計画書及び収支予算書の変更（補正）について

10. 監事会等の実施状況

(1) 監事会

期日場所：令和6年5月16日、青森県畜産協会 会議室

〔監査事項〕 令和5年度会計事務及び業務に関する監査について

(2) 三上公認会計士事務所による会計事務等の調査・指導

① 令和6年 5月13日、令和5年度決算財務調査について

② 令和6年11月25日、令和6年度財務調査（前期）について

③ 令和7年 3月 7日、令和6年度財務調査（後期）について

④ 令和7年 3月31日、予防事業ワクチン在庫の現地確認調査（十和田市、八戸市）

11. 基金に関する事項

(1) 預り運営基金（正会員等 61 団体）

（単位：円）

区 分	経営支援（価格安定）			家畜衛生	合計
	肉用子牛	肉 豚	（計）		
期首残	255,910,000	178,100,000	434,010,000	37,260,000	471,270,000
増 減	0	0	0	0	0
期末残	255,910,000	178,100,000	434,010,000	37,260,000	471,270,000

注：肉用子牛に全国肉用牛振興基金協会からの 5,000,000 円を含む。

(2) 寄 託 金

（単位：円）

団 体 名	区 分	家畜衛生	備 考
地区家畜衛生推進協議会 (5 地区)	期首残	4,374,000	
	増	0	
	取 崩	△ 4,374,000	
	期末残	0	

12. 会員名簿

(1) 正会員

R7. 3. 31 現在

No.	会 員 名	No.	会 員 名
1	青 森 県	42	青森県軽種馬生産農業協同組合
2	青 森 市	43	(公社) 青森県獣医師会
3	弘 前 市	44	(一社) 青森県配合飼料価格安定基金協会
4	八 戸 市	45	(一社) 青森県養豚協会
5	黒 石 市	46	青森県養鶏協会
6	五 所 川 原 市	47	(公社) あおもり農業支援センター
7	十 和 田 市	48	青森農業協同組合
8	三 沢 市	49	つがるにしきた農業協同組合
9	む つ 市	50	ごしょつがる農業協同組合
10	つ が る 市	51	つがる弘前農業協同組合
11	平 川 市	52	津軽みらい農業協同組合
12	平 内 町	53	十和田おいらせ農業協同組合
13	今 別 町	54	ゆうき青森農業協同組合
14	外ヶ浜町	55	おいらせ農業協同組合
15	蓬 田 村	56	八戸農業協同組合
16	鯹ヶ沢町	57	三戸畜産農業協同組合
17	深 浦 町	58	五戸畜産農業協同組合
18	藤 崎 町	59	三本木畜産農業協同組合
19	鶴 田 町	60	青森県七戸畜産農業協同組合
20	中 泊 町	61	田名部畜産農業協同組合
21	野 辺 地 町	62	大間町畜産農業協同組合
22	七 戸 町	63	深浦畜産農業協同組合
23	六 戸 町	64	田代牧野畜産農業協同組合
24	横 浜 町	65	深持牧野畜産農業協同組合
25	東 北 町	66	奥瀬牧野畜産農業協同組合
26	お い ら せ 町	67	法量牧野畜産農業協同組合
27	六ヶ所村	68	県南地区家畜衛生推進協議会
28	大 間 町	69	津軽地区家畜衛生推進協議会
29	東 通 村	70	つがる市屏風山畜産組合
30	佐 井 村	71	(農) 和平高原開発農場
31	三 戸 町	72	(農) 北栄トラクター利用組合
32	五 戸 町	73	(農) 吹越台地飼料生産利用組合
33	田 子 町	74	青森県養蜂協会
34	南 部 町	75	雪印種苗(株)十和田営業所
35	階 上 町	76	ヤマアグリジャパン(株)東日本カンパニー北東北営業部青森事務所
36	新 郷 村	77	みらいのアグリ(株) (北原電牧)
37	青森県農業協同組合中央会		
38	全国農業協同組合連合会青森県本部		
39	全国共済農業協同組合連合会青森県本部		
40	青森県農業共済組合		
41	青森県畜産農業協同組合連合会		

(2) 賛助会員

No.	会 員 名	No.	会 員 名
1	青森県農業信用基金協会	3	津軽地域馬肉振興協議会
2	青森県動物薬品器材協会	4	サージミヤワキ(株)札幌営業所

13. 役員名簿

R7.3.31 現在

役 職	氏 名	区分	所 属 団 体
会 長	小山田 久	非常勤	学 識 経 験 者（元 十和田市長）
副 会 長	山 崎 憲 久	非常勤	旧上十三地区家畜衛生推進協議会 会長
専務理事	中 野 晋	常 勤	学 識 経 験 者
理 事	小 又 勉	非常勤	七 戸 町 町長
理 事	畑 中 稔 朗	非常勤	東 通 村 村長
理 事	小山田 富 弥	非常勤	（公社）青森県獣医師会 会長
理 事	倉 光 弘 昭	非常勤	旧津軽地区家畜衛生推進協議会 会長（つがる市長）
理 事	若 宮 佳 一	非常勤	旧三八畜産衛生協議会 副会長（五戸町長）
理 事	山 内 正 孝	非常勤	青森県畜産農業協同組合連合会 代表理事会長
理 事	布 施 久	非常勤	（一社）青森県養豚協会 会長理事
理 事	天 間 一 博	非常勤	ゆうき青森農業協同組合 代表理事組合長
理 事	千 葉 準 一	非常勤	青森県農業共済組合 理事
理 事	金 子 春 雄	非常勤	（一社）青森県配合飼料価格安定基金協会 理事長
代表監事	白 戸 勝 一	非常勤	学 識 経 験 者
監 事	斗 澤 康 広	非常勤	十和田おいらせ農業協同組合 代表理事専務

Ⅱ 事業別実績概要

一 般 会 計

1 経営支援対策

1. 補助事業

(1) 肉用子牛生産者補給金制度運営体制整備強化事業（機構補助）

①肉用子牛生産者補給金制度運営適正化事業（事業費 8,434,071 円）

ア 制度運営適正化推進

肉用子牛生産者補給金制度に係る業務の適正な実施を図るため、肉用子牛の個体識別、個体登録及び販売・保留・異動の確認等の事務を行った。また、家畜市場における肉用子牛の取引情報を収集し、独立行政法人農畜産業振興機構へ報告した。

イ 指定協会調査指導

肉用子牛生産者補給金制度の適正な実施体制の確保に向け、協会が事務委託した農協等が行う事務の執行についての点検、調査等を実施した。

②指定協会運営体制支援事業（事業費 5,730,814 円）

協会の運営体制を整備し、肉用子牛生産者補給金制度の業務を円滑に遂行した。

(2) 肉用牛経営安定対策補完事業（機構補助・事業費 7,029,175円 + 880円）

地域の活性化に重要な役割を果たしている肉用牛について、高齢化等に対応する肉用牛ヘルパー組織の取組に支援した。

①肉用牛ヘルパー推進（補助率：1/2）

肉用牛ヘルパー利用組合が実施した活動経費に対する補助（2団体5,662,005円）

②肉用牛振興推進指導

推進会議や事業推進指導等の実施（1,367,170円）

(3) 地域畜産支援指導等体制強化事業（地全協補助・事業費 22,559,000円）

県の支援を受けながら、畜産経営の支援体制を整備し、経営や生産技術の指導のほか、地域畜産の活性化や馬事普及啓発などに取り組んだ。

①畜産経営の支援体制の強化を図る事業

ア 畜産経営支援体制確立事業

畜産経営の改善や安定化のため、県内の畜産農家（乳用牛、肉用牛等）の畜産コンサルタントを行った。157件（乳用牛46件、肉用牛68件、その他43件）

イ 支援指導活動の実施に必要な人材（職員）確保、育成事業

支援指導活動の実施に必要な人材を育成するため、農業高校生等を対象に畜産関係施設で実務研修を行った。

ウ 畜産経営に対する基盤強化事業

畜産経営の基盤強化のため、機械の導入や高能力牛の導入、飼料生産基盤の整備に取り組んだ。

エ 畜産経営に対する所得向上対策事業

経営の所得向上に向け、乳質や肉質などの改善に向けた生産指導のほか、子牛・肥育牛の価格低下を補う制度を着実に推進した。

オ 新規就農者、担い手確保のための事業

- ・若手女性肉用牛経営者研修会の開催（青森市）
- ・経営改善指導を目的とした若手養豚経営者勉強会の開催（青森市）
- ・東通村肉用牛婦人部会交流会の開催（東通村）
- ・あおもりモーモー母ちゃんの集いへの参加（八戸市）

- ・畜産農家育成を目的とした農業高校生対象の畜産施設見学研修会開催(野辺地町)及び高校生への畜産業インターンシップ作業体験を行った。(青森市)

カ 堆肥ネットワーク推進事業

- ・畜産堆肥の利用拡大に向け、生産者側である畜産農家と利用者側である耕種農家とのマッチングを行った。
- ・堆肥展示会 相談窓口設置 (地域相談員、協会職員) 7回

②地域畜産の活性化、安全かつ安定的な食の提供に資するための事業

ア 地域畜産振興対策事業

- ・地域で開催される畜産共進会等に参加し、生産技術等の指導助言と副賞(15回38点)の授与を行った。
- ・会員及び関係者に対し各種事業の普及啓発を行うため、畜産協会だよりを年2回(600部)発行した。

イ 家畜畜産物衛生指導事業

- ・獣医師研修会及び予防接種事業に係る現地調査等を実施した。(7か所)

ウ 農場 HACCP 認証活動事業

- ・農場 HACCP 審査員力量向上研修参加
- ・認証農場の構築指導 11回

エ 県産畜産物普及拡大推進事業

- ・県産畜産物(牛肉、はちみつ)について、消費拡大及び普及啓発を図るため、消費者等に向けたセールスプロモーション等を行った。(5か所)

③馬事普及啓発の推進体制の強化を図る事業

新たな競馬ファンの獲得による地方競馬の活性化、畜産の普及啓発と県産畜産物の消費拡大を図るため、盛岡競馬場及び水沢競馬場の開催に合わせ畜産フェアを開催した。併せて地方競馬のPRを行った。

- ・水沢競馬場、盛岡競馬場、(R6.6.16、R6.10.6)、八戸サラブレッド市場(R6.7.2)で県産畜産物のPRを行った。
- ・盛岡競馬場における記念レース(R6.10.6)で騎手や調教師への副賞として(県産牛焼肉セット4名分)を授与し、県産畜産物のPRを行った。
- ・盛岡競馬場で競馬観戦ツアー(R6.10.6)を開催し、参加者に対し地方競馬のPRと普及活動を行った。
- ・八戸騎馬打毬会、十和田流鏑馬観光連盟に対し、馬事畜産振興協議会活動事業への参加を促した。
- ・馬伝統行事の十和田流鏑馬のPR活動(十和田市 R6.10.18)
- ・地方競馬ミルクウィーク(水沢競馬場 R7.3.16)において、県産乳製品のPRを行った。

(4) 畜産特別資金等推進指導事業(中央畜産会補助・事業費 4,551,455円)

畜産特別資金を必要とする経営体の早期把握に努めるとともに、事業の適正かつ円滑な実施のため、融資機関や借入者に対する必要な指導と支援を行った。

①計画作成指導[貸付者 0戸]

②改善計画見直し指導

資 金 名	借 入 者	経営分析による指導	現地指導
(改) 大家畜特別支援資金	1 戸	1 戸	1 戸
計	1 戸	1 戸	1 戸

③改善計画達成指導

資 金 名	借 入 者	経営分析による指導	現地指導	濃密指導
(新) 大家畜特別支援資金	2 戸	2 戸	2 戸	0 戸
畜産経営改善緊急支援資金(大家畜)	4 戸	4 戸	4 戸	0 戸
畜産経営維持緊急支援資金	3 戸	3 戸	3 戸	1 戸
計	9 戸	9 戸	9 戸	1 戸

(5) 優良和子牛生産推進緊急支援事業（機構補助・事業費 130,810,692 円）

飼養管理向上のためのメニューに取り組む和子牛生産者に対し、和子牛の平均価格が発動基準価格を下回った場合に、奨励金を交付した。

①対象生産者：肉用子牛生産者補給金制度の交付契約を締結し、かつ事業参加申込書を提出した者

②支援交付金：黒毛和種 4,343 頭 129,850,000 円（令和6年4～12月分）

(6) 和子牛生産者臨時経営支援事業（機構補助・事業費 57,260,350 円）

和子牛価格が堅調に推移するまでの間、和子牛の生産基盤を安定させるためのセーフティネットとして、和子牛の取引価格が発動基準価格を下回った場合に、対象となる和子牛に支援交付金を交付した。

①対象生産者：肉用子牛生産者補給金制度の交付契約を締結し、かつ事業参加申込書を提出した者

②支援交付金：黒毛和種 1,402 頭 57,201,600 円（令和6年1～3月分）

(7) 配合飼料価格高騰緊急対策事業（県補助 事業費 1,220,737,603 円、1,898,172,000 円）

①助成金の交付（県の令和5年度補正予算分 1,220,737,603 円）

県内の畜産経営体が令和5年度の第3四半期と第4四半期に購入した配合飼料を対象に、購入費用の一部を助成した。

②交付準備金の基金造成（県の令和6年度補正予算分 1,898,172,000 円）

県内の畜産経営体が令和6年度に購入した配合飼料を対象に、購入費用の一部助成をするための基金を造成した。

2. 受託事業

(1) 肉用牛肥育経営安定交付金制度（機構委託・事業費 10,965,283円）

肉用牛肥育経営の収益性が悪化した場合に、粗収益と生産費との差額の9割を補填することにより、肉用牛肥育経営の安定を図る制度を円滑に推進するため、積立金管理者として機構から業務を受託し、3つの品種について、補填金の交付事務を適切に行った。

①対象家畜

区 分	肉専用種	交 雑 種	乳 用 種	計	備 考
積立金取扱頭数	7,467 頭	6,512 頭	6,978 頭	20,957 頭	

②交付条件：1頭当たりの生産費と粗収益との差額分の9割

③事業推進委託等（事務委託先：12団体）

④補填金の交付状況（令和6年4～3月支払分）

（単位：円）

区 分	肉専用種	交 雑 種	乳 用 種	計
機構交付金	368,290,591	27,370,443	249,335,047	644,996,081
生産者積立金	122,763,788	9,123,539	83,111,717	214,999,044
計	491,054,379	36,493,982	332,446,764	859,995,125

⑤令和6年度 生産者積立金単価

区 分	肉専用種	交 雑 種	乳 用 種	備 考
1頭当たり積立金	17,000円	13,000円	10,000円	

(2) 畜産経営支援体制確立事業（県委託・事業費 2,405,509円）

高度な技術を持つ生産性の高い畜産経営体を育成するため、畜産経営体の経営・生産技術の高度化に対する支援・指導を行った。

- ①地域指導相談窓口の配置 3か所（青森市2か所、六ヶ所村）相談件数 39件
- ②畜産経営技術の総合支援個別支援 135件
- ③ホームページによる情報提供 12回更新（家畜市場成績、県内畜産イベント情報等）

(3) 畜産クラスター全国実態調査事業（中央畜産会委託・事業費 160,936 円）

畜産クラスターの取組推進に係る経営体の指標作成のための調査を行った。（2戸）

(4) 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（畜産クラスター事業・機械導入事業）

（中央畜産会委託・事業費 3,276,128 円）

畜産クラスター計画に位置づけられている地域の中心的な経営体を対象に、収益力強化等に必要機械装置の導入支援を行った。

区 分	補助金配分件数	うち参加申請件数	うち承認件数	備 考
令和3年度	137 件	93 件	93 件	
令和4年度	123 件	91 件	44 件	
令和5年度	47 件	36 件	30 件	
令和6年度	34 件	33 件	30 件	
計	341 件	253 件	197 件	

令和6年度の補助金配分額	79,129,000 円
平成28年度～令和6年度の配分合計額	2,561,085,000 円

(5) ICT 化等機械装置等導入事業（畜産 ICT 事業）（中央畜産会委託・事業費 181,520 円）

令和6年度は、事業の参加はなく、前年度までに導入した機械の現地確認等を行った。

(6) 畜産関係団体調整機能強化事業（中央畜産会委託・事業費 2,525,639円）

生産者の組織整備（仲間づくり）に向けた取組を行ったほか、専門家（畜産コンサルタント、畜産クラスターコーディネーター、HACCP指導相談員等）による畜産の経営技術、制度資金等の各種相談に応じる畜産経営窓口を設置した。

(7) 酪農経営支援総合対策事業（酪農労働省力化対策事業）（中央畜産会委託・事業費 726,550 円）

令和6年度は、事業の参加はなく、前年度までに導入した機械の現地確認等を行った。

(8) 貸付事業指導等事業（畜産近代化リース協会委託・事業費 306,779円）

畜産近代化リース事業により整備したトラクターなどの畜産関係機械施設の利用状況調査や指導、新規開拓に係る調査を行った。

- ①利用状況調査・指導： 6戸、基数： 15基
- ②新 規 開 拓 調 査： 2団体

- (9) 飼料自給率向上緊急対策事業（日本草地畜産種子協会委託・事業費 464,649 円+30,938 円）
農業者団体が草地の生産性向上のために行う難防除雑草の駆除を通じ、飼料自給率の向上が行われるよう支援を行った。
今年度は、年度途中で止むを得ない事情により、事業を中止した。
- (10) 優良繁殖雌牛更新加速化事業（全国肉用牛振興基金協会委託・事業費 1,561,889 円）
肉用牛の生産基盤の強化を図るため、高齢の繁殖雌牛から増体や肉質に優れた若い繁殖雌牛へ更新する場合に、奨励金を交付した。
①奨励金単価：優良な繁殖雌牛 100 千円、希少な父牛に由来する繁殖雌牛 150 千円
②対象上限：1 生産者当たり 25 頭を上限
③奨励金：94 戸、193 頭、20,550,000 円

3. 協会単独事業（自主事業）

- (1) 肉用牛肥育経営安定対策推進事業（事業費 4,265,845 円）
肉用牛肥育経営安定対策事業の円滑な推進を図るために事務委託先(12団体)に対し、委託事務に要する経費等を助成した。
- (2) 畜産振興対策事業（事業費 1,515,959 円）
県内の畜産経営の安定や県産畜産物のPRなどの畜産振興のため、畜産コンサルタントや畜産物の価格安定、肉用牛の高品質化に向けた取組等について、地全協や機構、県の事業と連携して実施した。

4. 馬事畜産振興対策事業

- 青森県馬事畜産振興協議会を通じて地方競馬の活性化をはじめ、畜産の普及啓発と県内の畜産物の消費拡大を図るため、盛岡競馬場における地方競馬の観戦ツアーを開催した。
- ①畜産フェア (R6.6.16 奥州市 200個、R6.10.6 盛岡市 200個)
②盛岡競馬場観戦ツアー (R6.10.6 岩手県盛岡市) 74名(うち協会 5名)
③〃 記念レース (R6.10.6 岩手県盛岡市)
④地方競馬ミルクウィーク (R7.3.16 岩手県奥州市)
⑤馬伝伝統行事 2件 (八戸騎馬打毬、十和田流鏑馬観光連盟)

5. 養蜂対策事業

- はちみつの品質向上のため、青森県養蜂協会の事務局として「はちみつ品評会」を開催した。
はちみつ品評会 (R6.11.1 青森市) 出品数 60点

特 別 会 計

1. 補給金事業

(1) 肉用子牛生産者補給金制度(機構補助・積立助成金 12,832,200 円、補てん金 241,814,000 円)

肉用子牛の再生産の確保と農業経営の安定を図るため、肉用子牛の価格が下落し国の定める保証基準価格を下回った場合に、その価格差を補填する肉用子牛生産者補給金制度の運営を行った。

令和6年度は、第7業務対象年間の5年目となっている。「黒毛和種」、「その他の肉専用種」(日本短角種等)について、平均売買価格が保証基準価格を下回り、発動があった。子牛の個体登録頭数は、「黒毛和種」が前年度より増加し、「その他の肉専用種」、「乳用種」、及び「交雑種」は減少した。全体では前年比97.5%の11,446頭となった。

① 生産者補給金交付契約締結状況

(単位:戸)

区分	個人	農協	農事組 合法人	株式 会社	有限 会社	市町村	その他	計
2年度末	666	3	1	13	9	0	2	694
3年度末	673	3	1	15	10	0	2	704
4年度末	675	3	1	16	10	0	2	707
5年度末	686	3	1	19	10	0	1	720
6年度末	694	3	1	19	10	0	2	729

② 事務委託先契約締結状況

(単位:件)

区 分	総合農協	専門農協	そ の 他	計
2年度末	8	5	1	14
3年度末	8	5	1	14
4年度末	8	5	1	14
5年度末	8	5	1	14
6年度末	8	5	1	14

③ 契約肉用子牛個体登録頭数の内訳

(単位:頭)

区 分	黒毛和種	褐毛和種	その他の 肉専用種	乳用種	交雑種	計
継続	388	0	0	0	0	388
新規	7,723	0	26	447	2,862	11,058
計	8,111	0	26	447	2,862	11,446

④ 保証基準価格と合理化目標価格

(単位:円/頭)

品種区分	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種
保証基準価格	564,000	514,000	328,000	164,000	274,000
合理化目標価格	444,000	404,000	258,000	110,000	216,000

⑤ 肉用子牛1頭当たりの生産者積立金及び負担区分（令和2年4月登録分から）（単位：円）

品種区分	生産者積立金	負担区分		
		農畜産業振興機構	青森県	生産者
黒毛和種	1,600	800	400	400
褐毛和種	6,000	3,000	1,500	1,500
その他の肉専用種	18,800	9,400	4,700	4,700
乳用種	6,800	3,400	1,700	1,700
交雑種	3,200	1,600	800	800

⑥ 生産者積立金造成内訳（単位：頭、円）

品 種		個体登録頭数	積立金 単価	積立金 所要額	負担区分		
					機構 (1/2)	青森県 (1/4)	生産者 (1/4)
黒毛和種	継続	388	1,600	—	—	—	155,200
	新規	7,723	1,600	—	—	—	3,089,200
	計	8,111	—	12,977,600	6,488,800	3,244,400	3,244,400
褐毛和種	継続	0	6,000	—	—	—	0
	新規	0	6,000	—	—	—	0
	計	0	—	0	0	0	0
その他の肉専用種	継続	0	18,800	—	—	—	0
	新規	26	18,800	—	—	—	122,200
	計	26	—	488,800	244,400	122,200	122,200
乳用種	継続	0	6,800	—	—	—	0
	新規	447	6,800	—	—	—	759,900
	計	447	—	3,039,600	1,519,800	759,900	759,900
交雑種	継続	0	3,200	—	—	—	0
	新規	2,862	3,200	—	—	—	2,289,600
	計	2,862	—	9,158,400	4,579,200	2,289,600	2,289,600
合 計	継続	388	—	—	—	—	155,200
	新規	11,058	—	—	—	—	6,260,900
	計	11,446	—	25,664,400	12,832,200	6,416,100	6,416,100

（注）個体登録頭数は令和6年1月～令和6年12月分

⑦ 生産者積立金及び生産者積立準備金管理状況

(単位：円)

保証基準価格の品種区分			黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種	合 計	
区 分									
1 期 首 残 高	①生産者積立金		41,603,594	0	2,985,209	47,698,846	26,260,707	118,548,356	
	②生産者積立準備金		—	—	—	—	—	109,283,479	
	内 訳	③生産者の負担金充当分	—	—	—	—	—	1,429,952	
		④都道府県の生産者積立助成金充当分	—	—	—	—	—	107,853,527	
		⑤機構の生産者積立助成金充当分	—	—	—	—	—	0	
2 生 産 者 積 立 金 積 立 実 績	⑥生産者積立金純増加額 (⑨+⑫+⑮+⑱)		9,578,000	0	366,600	2,279,700	6,868,800	19,093,100	
	⑦生産者積立準備金からの繰入額 (⑩+⑬+⑯)		3,399,600	0	122,200	759,900	2,289,600	6,571,300	
	⑧ 計		12,977,600	0	488,800	3,039,600	9,158,400	25,664,400	
	内 訳	生産者	⑨負 担 金	3,089,200	0	122,200	759,900	2,289,600	6,260,900
			⑩生産者積立準備金(③からの繰入額)	155,200	0	0	0	0	155,200
			⑪ (小計)	3,244,400	0	122,200	759,900	2,289,600	6,416,100
		都道府県	⑫生産者積立助成金	0	0	0	0	0	0
			⑬生産者積立準備金(④からの繰入額)	3,244,400	0	122,200	759,900	2,289,600	6,416,100
			⑭ (小計)	3,244,400	0	122,200	759,900	2,289,600	6,416,100
		機構	⑮生産者積立助成金	6,488,800	0	244,400	1,519,800	4,579,200	12,832,200
			⑯生産者積立準備金(⑤からの繰入額)	0	0	0	0	0	0
			⑰ (小計)	6,488,800	0	244,400	1,519,800	4,579,200	12,832,200
		その他	⑱生産者積立金とすることを指定して寄附又は補助された財産	0	0	0	0	0	0
	3 他 の 資 産 か ら の 繰 入 状 況 等	⑲特別の積立金から生産者積立金への繰入れた金額		0	0	0	0	0	0
		⑳調整積立金から生産者積立金への繰入れた金額		0	0	0	0	0	0
㉑交付した補給金の生産者からの返還額		0	0	0	0	0	0		
㉒生産者補給金に充てるための全国協会等からの借入金額		0	0	0	0	0	0		
㉓生産者積立金に係る運用果実		11,392	0	1,768	12,293	7,393	32,846		
㉔生産者積立準備金に係る運用果実		—	—	—	—	—	28,180		
㉕生産者補給金交付額 (㉑を含む)		0	0	623,790	0	0	623,790		
㉖生産者積立金からの借入金返済額		0	0	0	0	0	0		
㉗生産者積立金から生産者積立準備金への繰入額		54,592,586	0	2,851,987	50,750,739	35,426,500	143,621,812		
㉘生産者積立金からの返還額 (生産者分)		0	0	0	0	0	0		
㉙生産者積立金からの返還額 (県分)		0	0	0	0	0	0		
㉚生産者積立金からの返還額 (機構分)		0	0	0	0	0	0		
㉛特別の積立金から生産者積立準備金への繰入額		0	0	0	0	0	0		
㉜生産者積立準備金からの返還額 (生産者分)		0	0	0	0	0	0		
㉝生産者積立準備金からの返還額 (県分)		0	0	0	0	0	0		
㉞生産者積立準備金からの返還額 (機構分)		0	0	0	0	0	0		
4 期 末 残 高	㉟生産者積立金(①+⑧+⑱+㉑+㉒+㉓+㉕+㉖+㉗+㉘+㉙+㉚+㉛+㉜+㉝+㉞+㉟)		0	0	0	0	0	0	
	㊱生産者積立準備金(②+㉔+㉕+㉖+㉗+㉘+㉙+㉚+㉛+㉜+㉝+㉞+㉟)		—	—	—	—	—	246,362,171	
	内 訳	㊲生産者の負担金充当分	—	—	—	—	—	37,180,411	
		㊳都道府県の生産者積立助成金充当分	—	—	—	—	—	137,370,855	
		㊴機構の生産者積立助成金充当分	0	0	0	0	0	71,810,905	

⑧ 特別の積立金管理状況

(単位:円)

区 分		黒毛和種	褐毛和種	その他の 肉専用種	乳用種	交雑種	合計
期首残高					0		0
増 加	特別納付金				0		0
	受入利息				0		0
	生産者積立金返還金				0		0
	小計				0		0
減 少	普通財産へ繰入				0		0
	生産者積立準備金へ繰入				0		0
	小計				0		0
期末残高					0		0

⑨ 償還円滑化積立金管理状況

(単位:円)

区 分		黒毛和種	褐毛和種	その他の 肉専用種	乳用種	交雑種	合計
期首残高			128, 840		290, 237	9, 042, 072	9, 461, 149
増 加	生産者積立準備金より繰入		0		0	0	0
	受入利息		35		79	2, 492	2, 606
	小計		35		79	2, 492	2, 606
減 少	機構へ償還		0		0	0	0
	全国協会へ償還		0		0	0	0
	小計		0		0	0	0
期末残高			128, 875		290, 316	9, 044, 564	9, 463, 755

⑩ 生産者補給交付金交付状況

(単位:頭、円、人)

区分	保証基準価格の 品種区分		黒毛 和種	褐毛 和種	その他の 肉専用種	乳用種	交雑種	合計
令和6年 1月1日 ～ 令和6年 3月31日	交付対象 頭数 ①	販 売			2			2
		保 留			27			27
		合 計			29			29
	②生産者補給金単価				90,510			-
	③生産者補給金交付額 (①×②)				2,624,790			2,624,790
	交付対象生産者数				5			5
令和6年 4月1日 ～ 令和6年 6月30日	交付対象 頭数 ①	販 売	1,578					1,578
		保 留	365					365
		合 計	1,943					1,943
	②生産者補給金単価		22,600					-
	③生産者補給金交付額 (①×②)		43,911,800					43,911,800
	交付対象生産者数		338					338
令和6年 7月1日 ～ 令和6年 9月30日	交付対象 頭数 ①	販 売	1,517					1,517
		保 留	334					334
		合 計	1,851					1,851
	②生産者補給金単価		65,100					-
	③生産者補給金交付額 (①×②)		120,500,100					120,500,100
	交付対象生産者数		338					338
令和6年 10月1日 ～ 令和6年 12月31日	交付対象 頭数 ①	販 売	1,495					1,495
		保 留	296					296
		合 計	1,791					1,791
	②生産者補給金単価		42,100					-
	③生産者補給金交付額 (①×②)		75,401,100					75,401,100
	交付対象生産者数		323					323
令和6年 合 計 1月1日 ～ 12月31日	交付対象 頭数	販 売	4,590	0	2			4,592
		保 留	995	0	27			1,022
		合 計	5,585	0	29			5,614
	生産者補給金交付額		239,813,000	0	2,624,790			242,437,790
	交付対象生産者数		457		5			462

2. 肉用牛肥育経営安定交付金制度（事業費 214,999,044円）

肉用牛肥育経営安定交付金制度の積立金管理者として、生産者積立金の徴収及び基金管理について適正に運営した。

（1）令和6年度（4～3月）基金管理状況（第2業対 令和7年3月31日現在）

（単位：円）

区 分		肉専用種	交 雑 種	乳 用 種	計
前期繰越金(A)		83,353,598	193,367,435	224,864,194	501,585,227
収 入	生産者積立金	126,933,000	84,668,000	69,780,000	281,381,000
	機構交付金	(368,290,591)	(27,370,443)	(249,335,047)	(644,996,081)
	受 取 利 息	33,078	106,820	101,483	241,381
	計(B)	495,256,669	112,145,263	319,216,530	926,618,462
基金累計額(C=A+B)		578,610,267	305,512,698	544,080,724	1,428,203,689
支 出	補填金交付額(積立金)	122,763,788	9,123,539	83,111,717	214,999,044
	補填金交付額(機構)	(368,290,591)	(27,370,443)	(249,335,047)	(644,996,081)
	計(D)	491,054,379	36,493,982	332,446,764	859,995,125
基金残額(C-D)		87,555,888	269,018,716	211,633,960	568,208,564

2 家畜衛生対策

1. 補助事業

(1) 家畜生産農場衛生対策事業（国補助・事業費 4,550,212円）

症状が明確でない慢性的な伝染性疾病や、清浄化が困難な伝染性疾病を清浄化し発生・流行を防止するため、生産者サイドでの自主的かつ組織的な取組を推進した。

① ヨーネ病早期清浄化のための自主淘汰の推進

- ・ 患畜同居牛の自主淘汰
- ・ 淘汰推進費交付頭数 4頭

② 牛伝染性リンパ腫（EBL）の感染拡大防止の推進

- ・ 獣医師講習会 1回（R6.8.6 東北町）
- ・ 抗体検査 87頭(2戸)
- ・ 吸血昆虫の忌避駆除対策 6農場

③ 牛ウイルス性下痢（BVD）対策

- ・ PCR 検査 764頭
- ・ バルク乳検査 0件
- ・ PI 牛の自主淘汰 1頭(1戸)

④ 農場飼養衛生管理強化対策

- ・ 獣医師講習会 1回（R6.8.6 東北町）

(2) 牛疾病検査円滑化推進対策事業（国補助・事業費 511,960円）

牛海綿状脳症（BSE）の的確な浸潤状況を把握し効果的な対策を行うため、死亡牛（月齢に関係なく、症状から BSE を否定できない牛及び特定症状を示す牛）について、検査のための採材などに対して、助成を行う。

- ・ 死亡牛の検査促進費、検体提供費の補助 対象頭数 0頭

(3) 獣医師養成確保修学資金給付事業（国補助・事業費 2,408,506円＋2,160,000円）

本県の家畜防疫体制の強化を図るため、本事業の普及啓発と、獣医師養成確保修学資金の給付を行った。

① 修学資金給付者 2名（4,320,000円）

② 共同負担者（NOSA I 1名、民間家畜診療所 1名）

(4) 家畜防疫・衛生指導対策事業（中央畜産会助成・事業費 4,828,607円）

家畜伝染病の発生予防・まん延防止等を確実かつ効率的なものとするため、地域における自衛防疫活動として推進会議及び防疫演習を実施した。また、農場 HACCP 認証取得の構築指導を実施するとともに、既認証農場に対する内部検証等の取組を支援した。

① 地域自衛防疫取組促進 事業推進検討会等開催 2回（R6.7.5青森市、R7.2.14青森市）

② 地域自衛防疫活動推進

- ・ 防疫演習4地域（R6.8.22 鶴田町、R6.9.12 三沢市、R6.9.26 八戸市、R6.9.26十和田市、R6.10.1五所川原市、R6.10.30東通村）

③ 馬伝染性貧血自衛検査 競馬場入厩馬の自衛検査 12頭

④ 地域農場 HACCP 認証支援

- ・ 農場 HACCP 普及推進協議会・講習会 2回（R6.7.5、R7.2.14 青森市）
- ・ 地域取組活動：意見交換会 1回（R6.6.17 七戸町）
- ・ 農場 HACCP 認証取得に係る構築指導 3戸（肉用牛 1戸、養豚 1戸、養鶏 1戸）

(5) 野生獣衛生推進体制促進事業（家畜衛生対策推進協議会助成・事業費 930,450円）

全国的な野生獣（シカ、イノシシ）の増加を踏まえ、地域の畜産及び野生獣関係機関、団体等が連携し、衛生実態調査成績の検討を行う協議会等を開催した。また、猟友会等の協力により捕獲した野生獣の衛生実態調査を実施した。

① 青森県野生獣衛生対策連絡協議会 2回（R6.8.23東北町、R7.2.14青森市）

1回目

- ・野生獣衛生推進体制促進事業の検査成績及び計画について
- ・青森県内の野生動物（ニホンジカとイノシシ）目撃情報等について
- ・豚熱経口ワクチン散布事業について

2回目

- ・事業進捗状況及び令和5年度の全国の検査状況について

② 野生獣の衛生対策推進講習会（動画配信）

〔家畜衛生対策推進協議会（事務局：中央畜産会）主催の講習会〕

- ・演題「農業農村のための獣害対策」について
- ・講師 兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 教授 山端 直人 氏

③ 野生獣衛生実態調査 ニホンジカ 10頭、イノシシ14頭

(6) 馬飼養衛生管理特別対策事業（中央畜産会助成・事業費 707,294円）

馬の生産、流通の広域化等を背景とした県内への伝染性疾患の侵入や流行を防止するため、競走馬以外の馬を対象として飼養衛生に関する講習会や実態調査等を実施した。

① 地域馬飼養衛生管理体制整備委員会 2回（R6.7.23七戸町、R7.2.14青森市）

② 馬飼養衛生管理技術地方講習会 1回（R6.11.13十和田市）

- ・講演「一般的な子馬の疾病」について

講師 日本中央競馬会 馬事部 調査役 村瀬 晴崇 氏

③ 馬獣医療実態調査 5戸

(7) 馬伝染性疾患防疫推進対策事業（中央畜産会助成・事業費 4,580,839円）

乗用馬・農用馬等を対象とした馬インフルエンザや、馬鼻肺炎のワクチン接種の推進と感染症対策の普及啓発を行った。

① 検討会の開催 2回（R6.7.23七戸町、R7.2.14青森市）

② 馬インフルエンザ予防接種 151頭

③ 馬鼻肺炎予防接種 225頭

(8) 育成馬等予防接種推進事業（中央畜産会助成・事業費 1,049,925円）

軽種馬生産地における伝染性疾患の発生流行防止のため、育成馬の予防接種を徹底した。

① 馬インフルエンザ、馬流行性脳炎、破傷風（3種混合）予防接種 250頭

② 馬インフルエンザ予防接種 26頭

(9) 地域養豚生産衛生向上対策支援事業（中央畜産会助成・事業費 13,443,291円）

飼養衛生管理基準に基づき、地域一体となって疾患の発生低減と清浄化を図るため、定期疾患検査や、農場内の生産性を阻害する原因の解析を行ったほか、効果的な疾患対策を検討するための推進会議と講習会を開催した。

① 地域推進会議 3回（R6.7.10 三沢市、R6.10.29 十和田市、R7.3.17 東北町）

② 巡回指導 2回（4農場）

③ モニタリング検査 豚農場 11戸、（14農場）、5疾患、2回、（延べ3,905件）

（PRRS、豚胸膜肺炎、マイコプラズマ肺炎、豚増殖性腸炎・拭き取り検査）

- (10) 青森県獣医師確保修学資金給付事業（県補助・事業費 2,004,078円）
将来、青森県の県獣医師へ就業を志す学生に対し、大学入学前に大学に納付する費用を給付した。（新規2名（国立1名 私立1名））

2. 受託事業

- (1) 家畜防疫互助基金支援事業（中央畜産会委託・事業費 2,862,892円＋263,471円（返戻事業費）
CSF（豚熱）やASF（アフリカ豚熱）、口蹄疫等の悪性伝染病が発生した場合の畜産経営への影響を緩和するため、経営再開までに必要な経費を互助補償する仕組みへの加入推進を図った。

また、飼養衛生管理基準が遵守されるよう、契約者や関係団体へ啓発するためのパンフレットを配布した。

① 対象伝染病：口蹄疫、牛疫、牛肺疫、アフリカ豚熱(ASF)、豚熱(CSF)

② 互助金交付対象

- ・法に基づき殺処分した農場が経営再開のために家畜を導入した経費
- ・殺処分した家畜を焼却・埋却するため自ら負担した経費

③ 契約締結状況（6年度末）

区 分	契約戸数	契約頭数	積立金額	備考
牛	514	58,810	8,715,055	
豚	28	327,078	31,113,730	
計	542	385,888	39,828,785	

④ 返戻に係る会議及び事務を行った。返戻 664戸

- (2) 畜産物輸出対応生産円滑化緊急対策事業（中央畜産会委託・事業費 928,203円）

畜産物の輸出は、輸出先国の規制に沿った飼養衛生管理やアニマルウェルフェアへの対応等、生産段階での対応が必要となるため、地域の特性や畜産物輸出の実態に応じて、パンフレットの配布や研修会を行い輸出に対する生産者の理解醸成と意識の向上を図った。

① セミナー開催 1回（R6.11.15 東北町）

- ・「青森県輸出戦略の概要」について 青森県県産品販売・輸出促進課
- ・「日本産和牛輸出の現状と輸出規制等」について（一社）日本畜産物輸出促進協会
- ・「地域の牛肉輸出コンソーシアムの現状と今後の見込み」について（一社）日本畜産物輸出促進協会

② パンフレット配布及びアンケート調査 配布80件（R7.3.16）

3. 協会単独事業（自主事業）

- (1) 自衛防疫強化対策事業（事業費 751,940円）

最近の家畜飼養衛生の実態を踏まえ、自衛防疫体制の確立と自衛防疫事業が効率的に推進できるよう、会議を開催した。

① 事業推進会議 県推進会議 2回、地域推進会議

（R6.7.5・R7.2.14 青森市、 R7.3.12～3.14 各地区）

- (2) 自主防疫推進事業（予防接種事業）（事業費 42,369,270円）

家畜伝染病の発生・流行を防止するため、国・県の指導のもとに、生産者や市町村、関係団体、地区家畜衛生推進協議会による防疫体制を強化しながら、指定獣医師による家畜伝染病予防接種事業を円滑に推進した。（実績頭羽数：付表のとおり）

(3) 総合指導事業（事業費 901,323円）

家畜の疾病が複雑多様化していることから、地域で抱えている家畜衛生対策の課題解決に必要な事業への助成や指定獣医師の技術向上等のための取組を行った。

① 家畜防疫地域活性化促進事業 2地区実施

（東青地区）産業動物獣医療安定確保対策事業

治療・繁殖検査等の診療機会の充実を図るため、肉用牛農家に対し、獣医師の定期的な巡回を行った。（24回・延べ169戸）

（むつ地区）ミルキングシステム点検事業

乳質の向上と乳房炎の発生を予防するため、正しい搾乳技術とミルキングシステムの点検を行った。（実施戸数：9戸）

② 研修事業 獣医師研修会

地区研修会等開催状況 開催協議会 5地区、開催回数 5回

③ 家畜衛生功労者表彰 三八 4名、上十三 2名、むつ 2名、つがる 1名

④ 事故対策費 1件

(4) 自衛防疫指導事業（事業費 3,783,000 円）

寄託金を財源として、地区家畜衛生推進協議会が行う自衛防疫関連事業及び研修事業等を円滑に推進した。（5地区）

(5) 死亡牛処理管理促進事業（事業費 284,135 円）

死亡牛処理に係る産業廃棄物処理票（マニフェスト）の保管・管理等の適正に行い、死亡牛処理を円滑に推進した。（取扱頭数 3,336 頭）

付 表

(1) 自主防疫推進事業実績 (令和6年度)

① 家畜伝染病予防接種実績頭数

(単位:円/頭・羽)

区 分		6年度 計画頭数	6年度 実績頭数	地区協議会別実績頭数				
				東 青	三 八	上十三	む つ	津 軽
(1) 補 助 等 事 業								
馬	馬インフル・脳炎・破傷風(混)	320	250	協会直接事業				
	馬インフルエンザ (不)	40	26					
	馬 鼻 肺 炎 (生)	250	225					
	馬インフルエンザ (不・自衛防)	170	151					
(2) 協 会 事 業								
牛	牛 ア カ バ ネ 病	5,740	4,965	159	1,097	2,617	669	423
	牛伝染性鼻気管炎5種混(生)	8,940	6,382	167	1,510	3,312	793	600
	牛伝染性鼻気管炎6種混(生・不)	1,195	907	75	0	725	90	17
	牛ヘモフィルス感染症	8,940	6,201	168	1,488	3,171	783	591
	牛レプトスピラ・パスツレラ感染症・マニフィカ感染症3種混合	100	23	0	2	0	0	21
	牛クロストリジウム感染症(5種混)	4,750	3,951	213	571	2,027	713	427
	牛下痢5種混合 (不)	95	112	66	0	0	0	46
豚	豚 丹 毒 (生20m l)	15,800	10,684	0	904	9,780	0	0
	豚 丹 毒 (生50m l)	18,000	18,624	0	12,224	6,400	0	0
	豚 丹 毒 (不50m l)	6,000	6,000	0	6,000	0	0	0
	日 本 脳 炎 (生)	500	460	0	0	460	0	0
	日本脳炎・豚パルボ混合(生)	200	300	0	0	300	0	0
馬	馬インフル・流脳・破傷風(混)	120	145	協会直接事業				
	馬インフルエンザ (不)	30	6					
	日 本 脳 炎 (不)	50	0					
	馬 鼻 肺 炎 (生)	0	4					
鶏	ニューカッスル病・IB(混)	100,000	91,000	0	0	0	0	91,000